☆青空の子どもたち☆　　横浜市立中丸小学校

学校だより　４月号　令和５年４月７日

青空の子どもたち

校長　吉田りえ

校庭やウサギ山公園の木々が次々と芽を吹く中、中丸小学校では新１年生５９名を迎えて、令和５年度がスタートしました。
お子様のご入学、ご進級を心からお祝い申し上げます。職員一同、さらに気持ちを引き締めて、本校の教育活動の充実に向けて取り組んでいく所存です。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の対応にも明るい兆しが見えてきそうです。感染症対策で様々な対応を求められた３年間でしたが、少しずつできることをやっていきたいと思います。しかし、見えないウイルスとの戦いは続きます。いろいろな情報があふれ、何が正しいのか、見極めることも大切になっています。学校でも感染防止に取り組みながら、活動をしていきます。ご家庭でもお子様の健康管理をどうぞよろしくお願いいたします。

中丸小学校は今年で52年目となりました。校歌には「青空の子供」と題名がつけられています。一般的には「〇〇小学校 校歌」とされることが多いのですが、どのような思いが込められているのでしょうか。作詞された山川啓介さん、作曲された田辺俊興さんは実際に中丸小学校に来られ、周辺の様子をご覧になったり、校舎屋上から空を眺めていたりする写真が残されています。子どもたちが愛校心をもって、いつも青空のように輝いて成長していくようにと願いを込められたのでしょうか。昭和50年３月１日にお披露目され、その日は青空のきれいな良いお天気の日だったと記録に残されています。“青空のようにいつも輝いている中丸の子”を今年度は少しでも多くの方に見ていただけるように、努めてまいります。

６日には新６年生が、新学期や入学式の準備のために登校しました。１年生の教室の清掃や飾り付け等、分担した仕事に責任をもって熱心に取り組んでいました。これから１年間、中丸小のリーダーとして活躍してくれることを期待しています。

年度のスタートのあたり、新しい環境の中で過ごす子どもたちをしっかり見守りながら、安心して学習や生活ができる学級や学年作りを進めていきます。そして、どの子も「学校に行くのが楽しい」と感じられるような“一人ひとりにとって居場所のある学校”をつくるために、全職員が共通の指導方針に則り、子ども達への理解と心に寄り添う指導により一層努めてまいります。
昨年度に引き続き、保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援ご協力をお願い申し上げます。